

明治大学図書館所蔵 蘆田文庫電子展示

<http://www.lib.meiji.ac.jp/ashida/>

古地図の現物



解題目録の作成

デジタル化

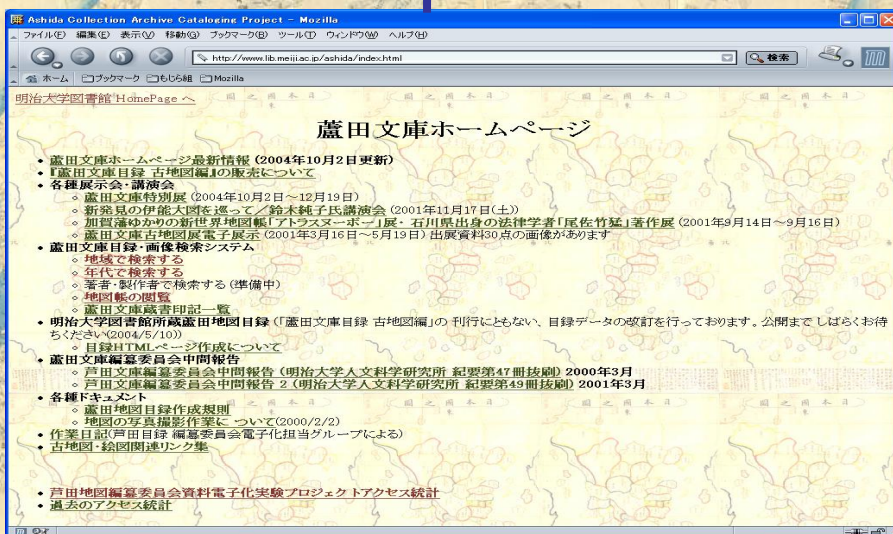
高精細
画像DB

画像DB

目録DB

関連論文等
情報リンク集

WEBサーバ・検索システム

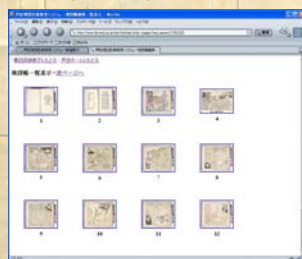
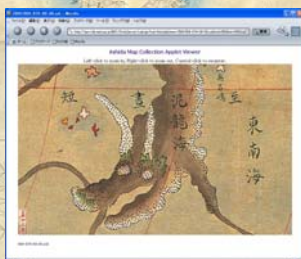


高精細表示

詳細表示

地図帳表示

関連論文



中

東

東

東

東

東

東

2004年3月刊行

蘆田文庫目録古地図編

私立大学図書館協会2004年度協会賞受賞

◇組版ソフトウェア pLaTeX2e による電子出版の実現

01-1* ИЗОБРАЖЕНИЕ ОБЪИХЪ ПОЛОВИНЪ ЗЕМНАГО ШАРА.; [地球全図] - [18世紀末] 手書図 (彩色) 1枚 61.2 × 120.5cm
 印記: 蘆田伊人圖書記
 注記・解題: 光太夫将来図の写し。『北撻聞略』付図の一つの「地球全図」と同系図の写し。神戸市立博物館所蔵図の新写真図か。ロシア語タイトルは原文だが、地球図内は漢字・片カナ表記に改められている。タイトル下中央の寓意図はない。中央下に <Давл. / Коо.> 右下に <Тажумы. / Шинпе.> の文字がある。前者は <大光> で大黒屋光太夫。後者は <

01-2* 林子平寫地球圖 (包紙) - 手書図 1枚 57.8 × 114.7cm
 印記: 蘆田伊人圖書記
 注記・解題: 安永4年林子平写「世界図」を寛政9年模写した図の写し (池田哲郎所蔵) のさらに蘆田氏による新転写図。識語の写として左端に「安永乙未冬得之和蘭象背松村世 (ママ) 網於肥前鎮臺館写之 林子平 于時寛政九季孟春所収於林氏得之而於化龍園間窓写之 里定式 (朱印写)」とあり。さらにペン書で「昭和十四年十二月二日池田哲郎君ヨリ借覽寫之 蘆田伊人識」とあり。東半球に一部朱線あり。「和蘭象背松村世綱」は蘭通詞松村元綱。

Babelパッケージによる多言語処理

植木平之允	[63-38]
上島長助	[62-102]
植野録夫	[36-111]
植松政之助	[95-1]
上村兵藏	[36-147]
歌川国盛二世 (胡蝶園春升)	[04-6]
歌川重宣	see 歌川広重二世
歌川広重 (一立齋廣重)	[26-46]
歌川広重 (一立齋廣重)	[37-58]
歌川広重二世 (歌川重宣)	[09-154]
歌川広重二世 (喜齋立祥)	[09-214]



今昔文字鏡フォントによる外字処理

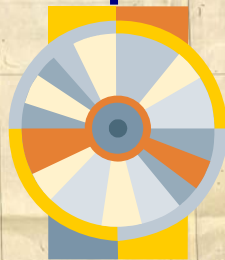
索引類の自動生成



◇目録データベースからの多元的目録出力



冊子体目録



PDF形式



html形式



明治大学所蔵 蘆田文庫古地図コレクション

歴史地理学者として高名な蘆田伊人が生涯をかけて収集した約2,000点の古地図です。

世界図、北方図、日本図、地方図、町図、街道図、水路図、俯瞰図、など幅広い分野にわたります。

日本図は、江戸初期の行基図や国絵図、元禄期の石川流宣『本朝図鑑綱目』、江戸中期に民間図の主流をなした安永8年(1779)版の長久保赤水『日本輿地路程全図』、伊能図、明治期の地形図などが系統的に集められており、日本地図成立史を知る上でも有用なコレクションと言えます。

また、地方図には、当該地域において既に失われてしまった貴重なものが含まれています。

世界図では、大黒屋光太夫将来の両半球図写図や、リッチ系の楕円形図などがあります。

蘆田伊人（あしだ・これと）略歴

明治	10年	(1877)	9月28日、福井市日ノ出町新屋敷で、蘆田碩、岩子の長男として生れる。祖父十左衛門は福井藩勘定奉行、父は福井藩藩学明新館教授・福井県第三師範学校漢学教授。
	24年	(1891)	福井県尋常中学校、高橋健自に歴史学を学び、歴史地図の編纂を手伝う。
	31年	(1898)	國學院大學入学、国史、国文、法制を専攻。
	33年	(1900)	國學院を中退し、早稲田大学史学及英文学科に入学、吉田東伍に学び、『日本読史地図』の編纂に加わる、吉田東伍没後は単独で改訂作業を進める。
	37年	(1904)	早稲田大学卒業、青森県立中学校教諭。
	38年	(1905)	東京歩兵第三連隊入隊。
	39年	(1906)	東京帝国大学史料編纂掛編纂官補（南北朝時代史編纂部）。
	42年	(1909)	日本歴史地理研究会入会、後に幹事。
	44年	(1911)	三井男爵家編纂室嘱託（大正7年まで）。
大正	6年	(1917)	子爵松平家の委嘱により松平春嶽侯記念文庫の設立、伝記編纂に従事（昭和2年まで）。
	7年	(1918)	帝国学士院の研究助成を受け大名領地の沿革調査（同10年まで）。
昭和	2年	(1927)	旧小浜藩酒井伯爵家編纂部主任（昭和15年まで）。
	10年	(1935)	帝国学士院の研究助成を受け日本村落の歴史地理的研究。
	11年	(1936)	宮内省皇室林野局の委嘱により皇室御料地の沿革調査（同12年まで）。
	18年	(1973)	松平春嶽編纂刊行会主任。
	20年	(1945)	戦災を避けて、蔵書を福井県松岡町と長野県諏訪市に疎開。
	23年	(1948)	福井大地震に遭遇、福井疎開の蔵書の大半を損失、残余を福井大学に売却し、諏訪市に移転。。
	35年	(1960)	6月6日、諏訪市で死去、享年85歳。 11月、福井市の妙長寺にて郷土葬。 明治大学図書館が諏訪市疎開分の蔵書を購入。

主要編著書

- 福井県管内地図（明治29）
- 東京近傍勝地遊覧地図（明治31）
- 古今東西金言類纂（精華堂、明治32）
- 東京市全図（明治44）
- 大日本地誌体系 初版本 14巻（大正3～6）
- 大日本地誌体系 再版本 40巻（雄山閣、昭和4～6）
- 大日本読史地図（富山房、昭和10）
- 御料地史稿（皇室林野局、昭和12）
- 松平春嶽全集 3巻（松平春嶽全集編纂刊行会、昭和14年～17）